

第 140 号 令和 5 年 9 月 1 日 発行

あまうが通信

あまうが(アマガ)とは真実

発行所 ひょうたんでら融通尊寺 〒 651-0093 神戸市中央区二宮町 4-8-14

電話 078-221-5136

発行人 住職 宇喜多 智弘(うきた ちこう) メール yuzusonj@gmail.com

FAX 078-221-9256

HP <https://www.yuzusonji.or.jp> 携帯 090-1480-4400

ひ がん ほう え

《秋季彼岸法会のご案内》

毎年行っております彼岸法会です。今年も
9月23日(土曜) 秋分の日、午後2時より
恒例の土砂加持法会です。

《光明真言百萬遍(1,000,000)奉納を突破して、積み重ねておられます》

当日は光明真言土砂加持秘法を修し、加持土砂(かじどしゃ)をお分け致します。加持土砂は、大地、地球の分身で、大日如来の五智の、活きた功德がこめられています。仏壇の中におまつりしてもよいですし、お墓にまくと、ご先祖様が喜ばれます。また、事故現場などにまくとお清めになります。建築の基礎工事の時に5ヶ所に埋めると地鎮祭の役目になります。あるいはコップに加持土砂を入れ、その中を水で満たし、更に別のコップに水だけに移し代えると甘露水となり、飲むとありがたい功德があります。

お彼岸の中日、皆様お揃いで是非ご参拝下さい。生死一如で亡き方も、生きている我々も、等しく大日如来の御霊光を、体と心に、いただくことができます。

この法会には事前や当日の申し込みは不要です。

お彼岸のお参りに参上させていただいているお家には、追って日時お約束の電話さし上げます。

《写経写仏会・法話会のご案内》

融通尊寺本堂にて、費用は無料です。

10月14日(土曜) 午後2時より写仏会 10月22日(日曜) 午後3時より法話会

11月11日(土曜) 午後2時より写仏会 11月19日(日曜) 午後3時より法話会

12月 9日(土曜) 午後2時より写仏会 12月17日(日曜) 午後3時より法話会

(12/9 写仏会の後、午後4時より法話会と合同の忘年会)

日時を確認のうえお越しください。

《淡路島十三佛霊場巡り♡前半》

日時：10月3日(火) 午前8時集合。集まり次第出発。日帰りです。

集合場所：融通尊寺 神戸市中央区二宮町 4-8-14

淡路島の十三仏霊場に今年と来年、2年掛けてお参りします。今年は前半の1番から7番までお参りの予定です。

会費：15,000 円 (諸物価高騰でバス代等の経費も上がっているため、今回から値上げさせていただきます)

申込〆切り：9月26日 申込は融通尊寺まで

裏へ続く～

《神戸真言宗連合会のバス旅行》

善通寺参拝と小豆島バス旅行

神戸市内の約60ヶ寺の真言宗のお寺さん集まりが、神戸真言宗連合会です。この連合会主催の例年のバス旅行のご案内を申し上げます。

日程：10月30日(月)～31日(火)1泊2日。

集合時間：午前7時(7時15分出発)

本年は弘法大師さま御誕生1250年を記念し、お大師さまが誕生し、建立された霊場「善通寺」へお参りし(31日)、「小豆島の長勝寺」へお参りしマルキン醤油記念館を見学します(30日)。宿泊はことひら温泉琴参閣です。

集合場所：JR神戸駅北 湊川神社東側

会費：33,000円

申込〆切り：9月30日 申込は融通尊寺まで

今月の言葉

8月15日に、施餓鬼法会がありました。台風のなか予定通り催しましたが18名もの皆さまがお参りしてくださいました。本当に有難う御座います！お参りされた方、お参りされずにお申込だけされた方、お参りも申込みもされなかった方、皆さまに、心から御礼申し上げます。本当に有難う御座います！

盂蘭盆施餓鬼法会うらぼんせがきほうえというのは今から約2,600年前の旧暦7月15日の満月の日に、インドの祇園精舎ぎおんしよじやというお寺で、お釈迦様が霊界通信に基づき始められました。仏教では最も大切に守られ、今や国民的な大行事、《お盆》として定着しています。その様子は盂蘭盆経うらぼんきよというお経に詳しく語られています。うちのホームページにも載せましたが、波瀾万丈の霊界通信です。結論は、《人生を楽しく生きるには、亡くなった先祖や有縁無縁、一切の靈魂さまのために、盂蘭盆をする事ですよ》です。では盂蘭盆とはなにか？これには古来いろいろな説がありますが、ボクが今年たどり着いた一つの答を申し上げます。盂も盆もお皿さら・器うつわという意味なのは字の如くです。問題は蘭です。この漢字はランの花の事で、ランのために作られた漢字です。ランは美しく香気があるので、蘭かぐわの字は芳かぐわしいもの立派な物のたとえに使われます。

つまり盂蘭盆とは、美しく立派なお供え物をたくさん盛ったお皿、お盆の事なのです。それから派生して盂蘭盆とは、お供え物、捧げ物をたくさん盛ったお皿、お盆を誰かに施ほどこす善行を意味する言葉になりました。盂蘭盆経はその物語を書いたお経で、南無盂蘭盆経ナムウラボンキョウと3回唱えると、実際に施したのと同じく功德があるみたいなんです。しかもお盆だけでなく年中お唱えでき、効果もあります。脱力して静かにお唱えするのがコツです。

そして、盂蘭盆を供えるのが、先祖のすみかである仏壇です。でもそれは形ある仏壇で、実は本当の仏壇は、本当の先祖の居場所は、我々の身体なのです。なぜなら人間の全ての細胞の遺伝子(DNA)は、父母、さらにその父母と、膨大な数の御先祖さまから出来上がっているからです。人間は歩く仏壇なのです。お経(ナムウラボンキョウ、般若心経、光明真言、等)を唱えることは、その仏壇へのお供えです。

合掌九拝 南無盂蘭盆経

